

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 松本油脂製菓株式会社

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,835	8.0	1,937	96.9	2,561	238.2	1,640	249.2
25年3月期第2四半期	13,732	△2.5	983	48.5	757	41.9	469	267.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,137百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	178.85	—
25年3月期第2四半期	46.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	49,026	39,820	80.7
25年3月期	46,960	38,232	80.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 39,568百万円 25年3月期 38,005百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年11月7日)公表の「第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,100	10.3	3,600	50.6	4,300	58.3	2,800	74.8	305.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年11月7日)公表の「第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	11,281,629 株	25年3月期	11,281,629 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,111,169 株	25年3月期	2,110,958 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,170,563 株	25年3月期2Q	10,177,396 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代を機に為替や株価に好転の兆しが見られ、明るさを取り戻しつつありますが、反面エネルギーコストの上昇や原材料価格の高騰懸念が国内産業に影響を及ぼし始めており、依然として先行きは不透明な状況であります。中東での反体制運動は長期化の様相を呈しておりますが、欧州の信用不安は小康を保っており、米国の雇用回復など、徐々にではありますが、世界経済は回復基調にあると見受けられます。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、海外生産が更に拡大しており、その影響を受けております。一方海外の繊維産業向けでは、欧州の不振は長引いていますが、米国の雇用回復に伴う経済回復の影響を受け、中国をはじめとするアジア諸国も経済回復が予測されます。

非繊維分野におきましては、国内の自動車生産は震災の影響から順調に回復し、堅調に推移していましたが、中国向け部品生産は停滞しております。住宅関連は2014年度の消費税増税の影響で生産増加の兆しが見えております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高14,835百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益1,937百万円（前年同四半期比96.9%増）、経常利益2,561百万円（前年同四半期比238.2%増）、四半期純利益1,640百万円（前年同四半期比249.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 日本

日本における当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は14,450百万円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,940百万円（前年同四半期比111.5%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社が縮小傾向の中、安定した販売実績となりました。海外への販売におきましては、中国合繊メーカー各社への拡販により販売数量が伸び、外部顧客に対する売上高は1,580百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化によりテキスタイル分野の加工量が減少しました。炭素繊維は航空機向けを中心に回復基調で推移しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では欧州向け需要が低迷する中、弾性繊維分野は不調ですが、工業用繊維分野、衣料繊維分野、高機能繊維分野ともに販売数量を伸ばしました。その結果、外部顧客に対する売上高は8,652百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維関連加工剤の販売は加工量が減少し、低調な結果となりました。化学工業分野では原料価格値上げに伴う製品価格の是正に努めるとともに、新規洗浄剤原料の販売増加もあり、外部顧客に対する売上高は531百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売が在庫過多による生産調整でやや減少しました。非繊維関連では、液晶分野設備の投資低迷が徐々に解消され、設備投資関連資材の販売が増加に転じました。化粧品原料は堅調に推移しております。建材関係でも徐々に回復の兆しが見えており、自動車分野向けの有機高分子製品の販売も好調に推移しました。その結果、外部顧客に対する売上高は3,685百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

## ② インドネシア

インドネシアにおける当第2四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は385百万円（前年同四半期比16.9%増）、セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同四半期比35.5%減）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、金額とも大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は2百万円（前年同四半期比30.3%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、スパン用、フィラメント用平滑剤は糊剤の低迷に伴い販売数量が減少しました。合繊の紡糸、紡績、コーニングオイル油剤の販売数量は前年並みで推移し、新規拡販中の精練剤は若干増加しました。その結果、外部顧客に対する売上高は195百万円（前年同四半期比31.9%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は1百万円（前年同四半期比45.7%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、中国からの糸、製品輸入が増え、フィラメント織物についても加工量が減少しております。更に、撚糸織物の比率が高まりサイジング織物が減り、糊剤の需要が減少しました。また、自動車、オートバイ用のタイヤ離型剤の販売数量は前年並みに推移しました。その結果、外部顧客に対する売上高は185百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比2,065百万円（4.4%）増加して、49,026百万円となりました。流動資産は前期末比1,552百万円（4.7%）増加の34,809百万円、固定資産は前期末比513百万円（3.7%）増加の14,217百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が3,913百万円、その他が999百万円前期末よりそれぞれ減少したものの、有価証券が6,360百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、投資有価証券が664百万円前期末より増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比478百万円（5.5%）増加の9,206百万円となりました。流動負債は、前期末比62百万円（0.8%）増加の8,203百万円、固定負債は前期末比415百万円（70.8%）増加の1,002百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、その他が208百万円、賞与引当金が169百万円前期末よりそれぞれ減少したものの、買掛金が363百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が402百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比1,587百万円（4.2%）増加して39,820百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、利益剰余金が1,089百万円、その他有価証券評価差額金が439百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の80.9%から80.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、3,044百万円増加（前年同四半期は1,962百万円の増加）し、21,143百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,748百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同四半期は1,163百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,561百万円、仕入債務の増加額344百万円、減価償却費342百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額805百万円、為替差益483百万円、賞与引当金の減少額169百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは1,314百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同四半期は1,351百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入3,520百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出1,920百万円、有形固定資産の取得による支出274百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは550百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同四半期は408百万円の減少）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額549百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表しました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年11月7日）公表しております「第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,381	15,467
受取手形及び売掛金	7,845	8,004
有価証券	1,231	7,591
商品及び製品	1,886	1,712
仕掛品	414	452
原材料及び貯蔵品	1,062	1,000
繰延税金資産	344	490
その他	1,092	92
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	33,256	34,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,428	6,505
減価償却累計額	△4,167	△4,282
建物及び構築物(純額)	2,261	2,223
機械装置及び運搬具	10,100	10,197
減価償却累計額	△8,569	△8,779
機械装置及び運搬具(純額)	1,530	1,417
土地	530	534
建設仮勘定	68	34
その他	1,502	1,509
減価償却累計額	△1,373	△1,385
その他(純額)	128	123
有形固定資産合計	4,519	4,333
無形固定資産		
その他	17	15
無形固定資産合計	17	15
投資その他の資産		
投資有価証券	8,592	9,257
その他	579	616
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	9,167	9,868
固定資産合計	13,703	14,217
資産合計	46,960	49,026

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,319	5,682
短期借入金	700	700
未払法人税等	817	895
賞与引当金	273	104
その他	1,030	821
流動負債合計	8,140	8,203
固定負債		
退職給付引当金	292	304
資産除去債務	96	98
繰延税金負債	103	505
その他	94	94
固定負債合計	587	1,002
負債合計	8,727	9,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	28,777	29,867
自己株式	△3,598	△3,599
株主資本合計	37,786	38,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	873
為替換算調整勘定	△215	△181
その他の包括利益累計額合計	218	692
少数株主持分	227	251
純資産合計	38,232	39,820
負債純資産合計	46,960	49,026



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,732	14,835
売上原価	10,835	10,970
売上総利益	2,897	3,865
販売費及び一般管理費	1,913	1,928
営業利益	983	1,937
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	34	40
持分法による投資利益	25	59
為替差益	—	450
投資事業組合運用益	—	11
その他	93	66
営業外収益合計	177	653
営業外費用		
支払利息	2	2
投資事業組合運用損	317	—
為替差損	74	—
その他	8	26
営業外費用合計	404	29
経常利益	757	2,561
特別利益		
関係会社株式売却益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
固定資産除却損	8	0
投資有価証券評価損	29	—
特別損失合計	38	0
税金等調整前四半期純利益	731	2,561
法人税、住民税及び事業税	161	879
法人税等調整額	65	41
法人税等合計	227	921
少数株主損益調整前四半期純利益	504	1,640
少数株主利益又は少数株主損失(△)	34	△0
四半期純利益	469	1,640

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	504	1,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	439
為替換算調整勘定	△8	47
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	10
その他の包括利益合計	△370	497
四半期包括利益	133	2,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103	2,113
少数株主に係る四半期包括利益	30	24

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	731	2,561
減価償却費	346	342
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	0
受取利息及び受取配当金	△58	△65
支払利息	2	2
為替差損益(△は益)	45	△483
持分法による投資損益(△は益)	△43	△53
売上債権の増減額(△は増加)	△338	△141
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78	234
仕入債務の増減額(△は減少)	563	344
賞与引当金の増減額(△は減少)	△164	△169
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	10
投資有価証券評価損益(△は益)	29	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△12	—
有形固定資産除却損	8	0
その他の営業外損益(△は益)	292	△15
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22	6
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4	2
その他の流動負債の増減額(△は減少)	45	△88
小計	1,363	2,488
利息及び配当金の受取額	58	67
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△255	△805
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,163	1,748
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△191	△274
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	24
有価証券の償還による収入	282	—
無形固定資産の取得による支出	△8	—
定期預金の預入による支出	△5,520	△1,920
定期預金の払戻による収入	6,720	3,520
関係会社株式の売却による収入	13	—
長期貸付金の回収による収入	48	0
保険積立金の積立による支出	△151	△50
保険積立金の解約による収入	52	17
保険積立金の払戻による収入	105	3
その他	2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,351	1,314

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	—
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△508	△549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408	△550
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143	532
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,962	3,044
現金及び現金同等物の期首残高	15,639	18,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,602	21,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	13,403	329	13,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	128	21	149
計	13,531	351	13,882
セグメント利益	917	37	954

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	954
セグメント間取引消去	28
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	983

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	14,450	385	14,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133	23	157
計	14,583	409	14,993
セグメント利益	1,940	24	1,964

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,964
セグメント間取引消去	△18
棚卸資産の調整額	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	1,937

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。